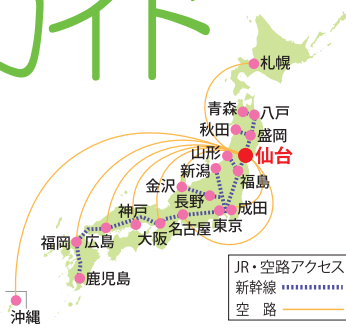


# 伊達な旅ガイド

Vol.223

笑顔咲くたび 伊達な旅  
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行  
いいトコ! **みやぎ**  
毎週月曜日 19:54~20:00  
BS-TBSにて大好評放送中



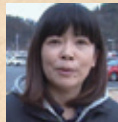
1月25日  
放送

## 南三陸できりこを作ろう

南三陸町に伝わる「きりこ」は、神様に感謝や祈りの気持ちを込めて、お正月などに神棚に飾られてきた切り紙です。震災後にはきりこを用いた復興へのメッセージボードが被災場所に置かれました。現在は仮設店舗が集まる「さんさん商店街」の隣に集約、復興のシンボルとして訪れた人々を迎えています。観光協会ではきりこ作りの体験メニューも企画。きりこ作りを通して復興への思いを感じてみませんか。

南三陸観光協会 菅原 きえさん

「どこの家の神棚にも飾ってあるという認識だった『きりこ』ですが、実は全国的に行われていることではないと知り、町の特徴の一つになると考え、きりこ作りの体験プログラムを企画しました。きりこを切る時はとても集中できて気持ちが落ち着くので、そんな側面も体験していただきたいと思います」



### きりこ体験プログラム

上山八幡宮の工藤さんに学ぶ南三陸のきりこ

申し込み：南三陸町観光協会 Tel.0226-47-2550

会場 **上山八幡宮**

古くからきりこを作り、町の人たちに配布してきた神社。



講師



ねぎ 禰宜 工藤真弓さん

宮司 工藤庄悦さん

今回体験したきりこ 餅や酒などが描かれた「切り透かし」



自分でもこんな風に作れるんだと、感動しました

昔の人がきりこに込めた思いを考えながら切りました

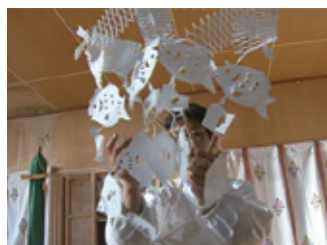


禰宜 工藤 真弓さん

「奇跡的に津波被害を免れた、きりこの型紙をみつけたとき、『きりこをしなさい』と言っているんだね」と主人に話しました。大変な時代から立ち上がり、生き抜いてきた昔の人々の思いを継承し、伝えなくてははいけません」

●恵比寿の弊

宮司さんが披露した立体的な細工



体験者に伝えた言葉

「きりこには東北の人たちの思いが込められています。日頃の神様への感謝、みんなへの感謝、食べることができない国への思いなど、そういう思いを一つ持ってゆっくり丁寧に切ってください。それがきりこが持つ本来の意味だと思います」

